



神奈川版
2022年3月号
月間「不屈」
No.573付録
編集兼発行人
宗形孝至

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟
神奈川県本部
〒221-0823
神奈川県横浜市神奈川区二つ谷町2-9
TEL/FAX 045-314-1766
E-mail chian.kanagawa@spice.ocn.ne.jp

哀悼 増本一彦さん ご冥福をお祈りいたします

県本部会長 宗形孝至

増本会長が2月6日急逝されました。

1989年から神奈川県の県本部会長として26年間その重責を担い、2016年から、中央本部会長として全国を駆け巡り「2020年代を同盟運動の転換期とする時代認識に立って、全国2万名の同盟建設を目標に」とよびかけ、平和と社会進歩のために、戦前命がけで闘った治安維持法犠牲者への「国による謝罪と賠償を求め、その法制化」を願って、同盟の発



展強化のために奮闘されました。増本会長のもとで、戦前の神奈川の闘いと抵抗の歴史は「神奈川の治安維持法犠牲者―その足跡と名簿―」「夜明けをめざして」「続・夜明けをめざして」の三部作として、富矢信男氏の編集のもとに発行しています。

平和と民主主義を守り、歴史逆行を許さず、治安維持法犠牲

弁護士 増本一彦さんを悼む

富矢信男

突然の訃報に接し驚いていました。もともと増本さんとは私と同じ藤沢市藤が岡に住んでいたのですが、私は東京への勤務、増本さんはご夫婦共弁護士ですから、めったにお逢いする機会がありませんでした。

やがて一九八九年、治安維持法

国賠同盟湘南支部が結成され、私もその時入会しました。私は早速「不屈」紙の編集作業に取り掛かりますが、湘南をはじめ、神奈川県の戦前の治安維持法弾圧犠牲者が数多くいることを知り、治安維持法弾圧犠牲者の安

者の史実発掘を進め、横浜事件や、小林多喜二祭などを語り継ぎ、日本国憲法の礎を築いた、先輩たちの貴重な闘いと抵抗の歴史を風化しないようにと粘り強く活動を進めた国賠同盟と増本会長の貢献を改めてかみしめ、その功績を引き継いでいこうではありませんか。

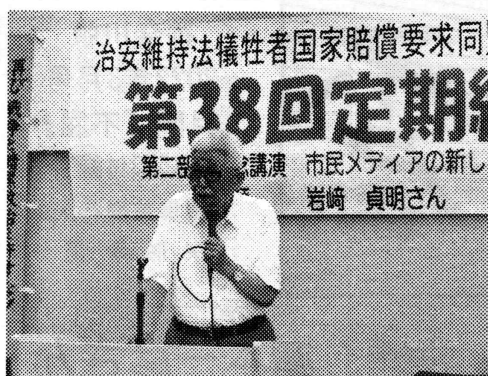
江さんの手引きを得ながら取材、インタビューの作業を続けることになり、湘南支部、県本部など、忙しくなりました。

増本さんは同支部の会長として任に任じていましたが、同支部結成としてすぐに県本部が結成され、増本さんが会長に選ばれていました。

私もその頃から県本部の機関誌「不屈」の編集を担当することとなり、増本さんと弾圧犠牲者とのお付き合いが頻繁になり、弾圧犠牲者の聞き取り作業や資料調査など

(2面に続く)

(1面より続く)



第38回県同盟総会での増本さん

忙しい日が続きました。犠牲者への訪問はご高齢ですが安江さんがついてくれます。一方増本さんからも戦前の弾圧法や法律分野の調査など援助してくれました。

一九六九年12月の総選挙では、当選した増本さんが弁護士であり、35歳の若手でしたから、予算委員会などでの田中角栄首相との論戦ぶりは、賑やかな話題になったものでした。

その後増本さんは消費税をなくす会代表世話人になって

市民運動の先頭に立つ、あるいは日本共産党神奈川県委員会の後援会代表など、マイカーで日夜を問わずの活躍でした。超多忙というせいもあってか、増本「弁護士」さん周辺のお手伝いする人たちは、脂汗をかきながらの超多忙の活動であつたようです。

そして二〇一五年、増本さんは同盟中央本部会長に推され、活動は全国が相手となり、東奔西走、かなりきつい活動

哀悼 増本一彦さんありがとう

県央支部 浜本大蔵

市民運動の先頭に立つ、あるいは日本共産党神奈川県委員会の後援会代表など、マイカーで日夜を問わずの活躍でした。超多忙というせいもあってか、増本「弁護士」さん周辺のお手伝いする人たちは、脂汗をかきながらの超多忙の活動であつたようです。

そして二〇一五年、増本さんは同盟中央本部会長に推され、活動は全国が相手となり、東奔西走、かなりきつい活動

国賠同盟中央本部会長・増本一彦さんが2月6日にお亡くなりになりました。奥様の敏子さんのお話しによると、1月28日から10日間、自宅で療養し、2月6日、日曜日でもあり、医師である息子さんが朝から終日看とり、子どもたち、お孫さんたちら、ご家族に見守られて息を引き取られたとのことでした。最期まで、先はないと思ひながらも、

これからやらなければならぬいあれこれに思を馳せていたようです。外出がままならなくなるので、自宅で会議ができるように、息子さんにテーブルと椅子を用意させたとのこと。息子さんは無駄だとは思ひながら、会議室用の備品一切を取り寄せたそうです。その会議室も一度も使用しないままになったようです。振り返ると、県央支部は発

足以来、増本さんにはずいぶんとお世話になってきました。毎年、総会のメーソンの行事はほとんど増本さんの記念講演でした。昨年の12月4日の総会でも増本講演でした。快諾してくださったのですが、その後、肝臓胆管癌と胃潰瘍の手術を受けて、これからは闘病と国賠同盟運動の両立でいくとのメールを10月1日にいただきました。健康を気遣って、何度かメール交換をしてきましたが、どんな事態であろうとも県央支部総会には行くと思ひ返事でした。

総会当日は娘さんとお孫さんの付き添いで来られました。講演のはじめは声に張りがない、少しばかり危ぶまれたのですが、徐々にいつもの昂揚ある口ぶりに戻り、容体のことを心配せずに聞き入りました。私はいつもの「増本節」が聞けて、すっかり安心しました。

総会の間、娘さんとお孫さ

(3面に続く)

(2面より続く)

んは大山の紅葉を見に行きました。それで総会が終わったあと、私は増本さんとあれこれ雑談しながら、お二人を待つことになりました。

「娘がまだ小さかった頃に、大山の紅葉を見に来たことがあってね。その楽しかったことが忘れられないんだなあ。娘は自分の娘にも大山の桜を見せたいと思ってね。それでついでに私を送り迎えしてくれることになったんだよ。」

と、私に気遣いさせないよう配慮しながらも、いかにも愛娘、愛孫を思いやる笑顔で、ご家族みんなで登った大山の思い出を話してくださいました。闘士の増本さんも好々爺だなあ、と思ったものでした。そのお孫さんに介助されてやっ

深く、遺影の前で、「お祖父ちゃん

の遺志を継ぐ」と泣き崩れたそうです。私が一昨年、脊柱管の手術をしたあとに、全国集会などでお会いするたびに、わざわざ壇上から降りてきて「浜本さん、その後は足の具合はどうだい」と声をかけてくださいました。その心配りに、温かいお人柄を身に染みて感じてきました。

「戦前の神奈川には、80名以上の教師が新興教育運動に参加して、天皇制教育・軍国主義教育反対の素晴らしい教育実践を残しているけど、残念ながら十分掘り起こされないまま埋もれている。浜本さんら、特に国賠同盟に参加している先生方がやらなければならぬ課題だよ。」と、ことあるごとに言われてきました。残念ながらその宿題は果たせぬままになっています。

72年の衆議院選挙に立候補したとき、赤ちゃんのおむつさえも買えず困っていたのを

見かねて、近所の若いお母さんたちがお古のおむつを持ちよったという、嘘のようなホント?の話し。そんな(赤ひげのお医者さん)のような世直し弁護士先生に是非とも国政で活躍してほしいと思つたものです。それから50年になります。以来、八面六臂の活躍、万分の一でも見習いたいと思つてきました。

次から次と思い出が蘇ってきます。小林多喜二の「これからは何代がかりの運動が続く」ということばを噛みしめながら、増本さんの遺志を引き受け、引き継ぎたいと思います。

川崎支部 斉藤のどか

私が衆議院選挙候補者になっていた2019年、国賠同盟川崎支部が企画した「素敵な国会議員になるための講座」で講師をつとめてくださったのが元国会議員でもあった増本会長さんでした。

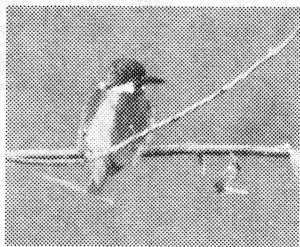
候補者としての心得を情熱

に溢れながらも、優しく具体的にアドバイスをして下さいました。「演説原稿は30分・10分用・5分用など、じっくり考えて準備しておくこと。聴衆がどんなかたちか、そこに相応しい訴えたい原稿も何種類か準備しておくこと。たとえ他候補者側の人物に対しても笑顔で挨拶して懐に入っ

て行き理解してくれる人を増やすこと。」など何項目も示して下さいました。

私の不安もすっかりと受け止めてくれ、弱みだと思つていた部分を強みだと言ってくれたときは救われた気持ちになりました。

増本さんに心からの敬意と哀悼の意を表します。



6月の全国大会めざして 同盟員拡大に力を尽くしましょう

同盟に加盟します

鎌倉市 石田美智子

前略

貴会に参加いたしたく、申込書類をお送り申し上げます。

実は弁護士増本一彦様から、二〇一七年に貴会への参加のご案内頂きながら、日を過ぎ、本日、新聞にて増本様御他界の報に接し、申し込み手続きした次第でございます。

なお、私は、治安維持法により拘束された、正木千冬氏の弟子筋にあたります。よろしくお願い申し上げます。

草々

新会員3名を 迎えました

川崎支部 山崎雅子

その経験を共有したいと思えます。

「入っても何も出来ないよ。」
「いいですよ。会費さえ払ってくれたら。」ということですね。なり入会OKしてくれました。

そもそもこの三人とは在職当時のからの活動仲間で付き合いは長いのですが、忙しい人たちなので私が声をかけを遠慮していたのです。先日リモート会議をした際、以前から国賠同盟の会員になっていた一人がすすめてくれたのです。「雅子さんがこんなに頑張っているんだからみんなもそろそろ協力したら？」と。そして上記の短いやり取りがあつて入会者3名を迎えたという訳です。

実は私自身、年金者組合、レックページ、国民救援会への入会エピソードがこのような風でした。それぞれの会の役員の方と身近に活動していながら入っていなかったのです。

私はすすめられれば入る心の準備はできていたのにそのかたたちは多分遠慮していたのだと思います。それが全く初対面の方からひよっこりすすめられて、それぞれ入会したという経験があります。

あなたも身近な方にちよつと勇気を出して入会をすすめてみませんか？



【横浜西部支部】

映画『わが青春つきるとも』

伊藤千代子の生涯

上映準備会開く

支部は2月26日(土) 保土ヶ谷区のアワーズにて初めての「映画」伊藤千代子の生涯」上映実行委員会準備会を開きました。

国賠同盟中央の「伊藤千代子チーム」の平沢清一さんの参加を得て、9名の参加で活発な意見交換を行いました。「4月2日の試写会にはぜひ参加したい」「地元でも試写会ができないか検討してほしい」等話し合い、会場探しも手分けして進めることにしました。

次回の集まりは4月9日に行うことにしました。

【同盟県本部日程】

県本部常任理事会

3月23日(水)

午後1時30分